

## 1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

### 1.1 製品識別名

製品名	3140-RTV
化学物質名	混合物。
CAS 番号	混合物。
EINECS 番号	混合物。
REACH 登録番号	割り当てられていない。

### 1.2 当該物質または混合物の記載されている重要用途および 指導対象の用途

記載されている用途	PC1: 接着剤・シール剤。
~ に対して助言された用途	知られていない。

### 1.3 安全性データシート供給者の詳細

会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom
電話	+44 (0) 1256 462131
F a x	+44 (0) 1256 471441
E メール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com

### 1.4 緊急電話番号

(00-1) 703-527-3887  
CHEMTREC

## 2. セクション 2: 危険有害性の要約

### 2.1 物質または混合物の分類

2.1.1 欧州 CLP 規則 ( No.1272/2008 ) 皮膚感作性 区分 1; H317

### 2.2 表示要素

欧州 CLP 規則 ( No.1272/2008 ) によれば

製品名 3140-RTV

危険性を表す絵文字



注意喚起語

警告

次を含有する:

Trimethoxy(methyl)silane

危険有害性情報

H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

危険有害性情報

P261: 蒸気の吸入を避ける。

P272: 汚染された作業着は作業場から出してはならない。

P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。

P302+P352: 皮膚に触れた場合: &lt;...&gt;/よく手を洗うこと。

P333+P313: 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P363: 再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。

追加情報

EUH066: 反復暴露により皮膚乾燥やひび割れのおそれ。

## 2.3 他の危険有害性

水または湿気を含んだ空気と接触するとメタン&lt;...&gt;を生成します。

空気存在下で温度が 180°C を超えると製品がホルムアルデヒド蒸気を放出することがあります。ホルムアルデヒド蒸気は発癌物質の疑いがあり、吸入すると中毒を起こします。また眼および呼吸器系を刺激します。暴露限界は厳密に遵守してください。

## 3. セクション 3: 組成/成分情報

## 3.2 混合物

EC 分類 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	REACH登録番号	危険有害性情報
Trimethylated silica	< 25	68909-20-6	272-697-1	割り当てられていない。	EUH066
Trimethoxy(methyl)silane	5 - 10	1185-55-3	214-685-0	割り当てられていない。	引火性液体 区分 2; H225 皮膚感作性 区分 1; H317
メタノール	< 0.2	67-56-1	200-659-6	割り当てられていない。	引火性液体 区分 2; H225 急性毒性 区分 3; H301 急性毒性 区分 3; H311 急性毒性 区分 3; H331 特定臓器毒性(反復暴露) 区分 1; H370

H225: 引火性の高い液体および蒸気。H301: 飲み込むと有毒。H311: 皮膚に接触すると有毒。H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H331: 吸入すると有毒。H370: 臓器の障害。EUH066: 反復暴露により皮膚乾燥やひび割れのおそれ。

## 4. セクション 4: 応急処置



## 4.1 応急処置の説明

吸入

呼吸困難の場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。

皮膚接触

皮膚に付着した場合：汚染された衣服を除去して、接触した部分をすべて大量の水で洗う。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。皮膚が刺激された場合：医師の診断/手当てを受けること。

目の接触

水で数分間注意深く洗う。

摂取

悪い症状が現れたら、医師の治療を受ける。

## 4.2 最も重要な症状および作用（急性および遅発性）

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。繰り返して被曝すると、皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。

## 4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要となる状態

症状によって処置する。

## 5. セクション 5: 火災時の措置

## 5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺の火災に適切な。炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がる可能性があります。

## 5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性

火災中あるいは極めて高熱の条件下で本製品が熱分解すると、以下の分解物が発生することがあります。無水ケイ酸、酸化炭素および微量の不完全燃焼した炭素化合物、ホルムアルデヒド、硫黄製品、窒素製品。空気存在下で温度が 180°C を超えると製品がホルムアルデヒド蒸気を放出することがあります。ホルムアルデヒド蒸気は発癌物質の疑いがあり、吸入すると中毒を起こします。また眼および呼吸器系を刺激します。暴露限界は厳密に遵守してください。

## 5.3 消防士へのアドバイス

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

## 6. セクション 6: 漏出時の措置

## 6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

適切な換気を確保する。危険がなければ漏出を遮断する。蒸気の吸入を避ける。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8.

## 6.2 環境的予防措置

環境に排出しないようにする。排水路、下水道または水路に入らないようにする。

## 6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材

流出物を砂、土または適切な吸収剤に吸収させる。廃棄用の容器に移す。製品をこぼすと床面が極めて滑りやすくなります。内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

改訂: 1.1 日付: 23.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &amp; 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

6.4 他のセクションの参照先 次の項を参照: 8, 13

## 7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- 7.1 安全な取り扱いのための注意事項 適切な換気を確保する。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。
- 7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む) 換気の良い場所で保管する。高温、着火源および直射日光を避けること。湿気を遮断する。
- 保管温度 次の値を超えない温度°Cで保管する: 32°C
- 保管期間 普通の状態で安定。
- 混触危険物質 次のものから離して保管する。酸化剤類。と水、水または湿気を含んだ空気と接触するとメタノール生成します。
- 7.3 具体的最終用途 PC1: 接着剤・シーリング剤.. 次の項を参照: 1.2

## 8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

- 8.1 管理指標
- 8.1.1 職業暴露限度

物質	CAS 番号	長期暴露限界(8 時間 TWA ppm)	長期暴露限界(8 時間 TWA mg/m3)	短時間暴露限界(ppm)	短時間暴露限界(mg/m3)	参照
メタノール	67-56-1	200	-	-	-	JSOH

参照: 許容濃度等の勧告 (2011 年度); 産衛誌 53 巻, 2011 - 日本産業衛生学会

- 8.1.2 生物学的限界値 確立されていない。
- 8.1.3 PNEC および DNEL 確立されていない。
- 8.2 暴露管理
- 8.2.1 適切な工学的管理 適切な換気を確保する。または適切な封じ込めを行うこと。職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。
- 8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置 化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。
- 目/顔面の保護 液体のはねから目を完全に保護するためにゴーグルを装着します (EN166)。



改訂: 1.1 日付: 23.07.2015

www.vishaypg.com

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &amp; 2015/830 によれば

皮膚の保護



手の保護: 不浸透性手袋を着用すること。浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に交換すること。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。

体の保護: 長靴、白衣、前掛けまたはつなぎ服を含む不浸透性の防護衣を適宜着用して、皮膚に接触しないようにしてください。

呼吸器の保護



換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。開放系: 適切な呼吸用保護具を着用する。A型フィルターの付いた適切なマスクが適すると思われる。

熱の危険性

該当なし。

## 8.2.3 環境暴露コントロール

環境に排出しないようにする。

## 9. セクション 9: 物理的および化学的性質

## 9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観	乳白色。液体。
におい	軽微な。
臭いの閾値	資料なし。
pH	確立されていない。
融点/凝固点	資料なし。
初留点と沸騰範囲	>65°C
引火点	>101°C [クロ-ズド カップ]
蒸発速度	資料なし。
燃焼性 (固体、ガス)	資料なし。
上限/下限可燃性または爆発限界	資料なし。
蒸気圧	資料なし。
蒸気密度	資料なし。
相対密度	1.05
溶解度	資料なし。
分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
自然発火温度	資料なし。
分解温度	資料なし。
粘度	300 Poise at 25°C.
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。

## 9.2 その他の情報

なし。.

## 10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1	反応性	本製品はメタン<吸・扱>します。
10.2	化学的安定性	普通の状態安定。
10.3	危険な反応の可能性	水または湿気を含んだ空気と接触するとメタン<吸>生成します。
10.4	避けるべき条件	湿気を遮断する。次の値を超えない温度°Cで保管する: 32.
10.5	混触危険物質	次のものから離して保管する。酸化剤類。と水。
10.6	危険有害性分解生成物	火災中あるいは極めて高熱の条件下で本製品が熱分解すると、以下の分解物が発生することがあります。無水ケイ酸, 酸化炭素および微量の不完全燃焼した炭素化合物, ホルムアルデヒド, 硫黄製品, 窒素製品。

## 11. セクション 11: 有害性情報

11.1	毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)	
	急性毒性	
	摂取	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
	吸入	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 20.0 mg/l。
	皮膚接触	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
	皮膚腐食性/刺激性	EUH066: 反復暴露により皮膚乾燥やひび割れのおそれ。
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚感作性 区分 1: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
	生殖細胞変異原性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	発がん性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	生殖毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	特定標的臓器への毒性 (単回暴露)	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	特定標的臓器への毒性 (反復暴露)	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	吸引性呼吸器有害性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
11.2	その他の情報	なし。

## 12. セクション 12: 環境影響情報

12.1	毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 推定 混合物。LC50 > 100 mg/l (魚類)。 細菌への悪影響は予測されていません。
12.2	残留性および分解性	シロキサンは、沈殿や下水汚泥への吸着によって水から除去されます。下水汚泥に吸着して 90%以上除去されます。本製品中のシロキサンによって BOD は

改訂: 1.1 日付: 23.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &amp; 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

影響されません。シロキサンは土壌中で分解されます。本製品は、水または水蒸気を含んだ空気中で加水分解し、メタン<吸イおよび有機ケイ素化合物を放出します。

12.3	生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性が低い。
12.4	土壌中の移動度	この製品は土壌中で移動性が高いと予想される。
12.5	PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6	その他の有害な作用	知られていない。

### 13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1	廃棄物処理法	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。
13.2	追加情報	なし。

### 14. セクション 14: 輸送上の注意

危険物輸送に関する UN 勧告(the United Nations 'Recommendations on the Transport of Dangerous Goods')によれば、分類されていない。

		<b>ADR/RID / IMDG / IATA</b>
14.1	国連番号	運送時に危険物として分類されていない。
14.2	UN 適切な船積み名	分類されていない。
14.3	輸送危険分類	分類されていない。
14.4	輸送危険分類	分類されていない。
14.5	環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない。/環境的に有害な物質。
14.6	使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2
14.7	MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。
14.8	追加情報	なし。

### 15. セクション 15: 適用法令

15.1	特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律	
15.1.1	EU 規制 高懸念物質 (SVHCs)	なし。
15.1.2	国の規制 ドイツ	水質危険クラス: 1
15.2	化学物質安全性評価	資料なし。

### 16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

改訂: 1.1 日付: 23.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &amp; 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

参考文献: 既存の安全データシート(SDS), 調和した分類メタノール (CAS# 67-58-1) と既存の ECHA 登録 Trimethoxy(methyl)silane (CAS# 1185-55-3) とメタノール (CAS# 67-58-1).

物質または混合物の分類 欧州CLP規則 ( No.1272/2008 ) によれば	分類手順
皮膚感作性 区分 1; H317	閾値計算テスト結果
EUH066	既存の安全データシート(SDS)

**注釈**

LTEL	長期暴露限界
STEL	短時間暴露限界
DNEL	求められた無影響量
PNEC	推定無影響濃度
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvB	高難分解性、高生物蓄積性

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

**免責事項**

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件 ( 法的なあるいはそうでない ) はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません ( 欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き )。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

**拡張安全性データシート(eSDS) の付録**

利用可能な情報なし。